

George Oenslager (1873 - 1956)

ペンシルバニア州ハリスバーグに生まれた。彼の業績として加硫促進剤の発見、酸化亜鉛を同時に使うと更に加硫が促進されることの発見、カーボンブラックをタイヤトレッドに初めて使用、マスターバッチの発明等が挙げられる。

彼はハーバード大学で化学を学び、パルプ製紙会社に就職した。その後、ダイヤモンドゴム社に移り、1906年アニリン(有機促進剤)が加硫を促進すること、更に亜鉛華(加硫促進剤)の促進効果とその分散性が重要なことを発見した。1912年ダイヤモンドゴム社がB. F. Goodrichに買収された後、1918年カーボンブラック(充てん剤)によってトレッドゴムの摩耗特性が改良されること(補強効果)を発見した。彼はゴム工業にとって非常に大切なものを3つ発見したことになる。

1920年から2年間、彼はB.F. Goodrichから横浜ゴムの技術コンサルタントとして訪日し、日本の文化・芸術に非常に興味を抱いた。彼の死後夫人はOenslager賞を創設(上司の勧めでダイヤモンドゴム社の株を買っていたので、その株式益から資金調達)し、ゴム化学に貢献した日本の研究者に隔年で贈られている*。

1948年Goodyearメダル受賞。1982年国際的ゴム科学の殿堂入り。

*日本ゴム協会がゴムに関連する学術又は工業に貢献する貴重な積年の研究、又は顕著な累積的な業績のあった受賞候補者の選考および受賞を行っている。

(株)ブリヂストン 中島 幸雄)

参考文献：ACS Rubber Division, "Vignettes from the International Rubber Science Hall of Fame (1958-1988)" (1989)



GEORGE OENSLAGER (1873 - 1956)